

宇部市新庁舎1期棟新築工事総合評価審査委員会による技術提案審査結果の概要【建築】

令和元年7月8日

評価項目		11	12	13	評価の理由
提案項目	①-(1)-【1】	S 5	B 2.5	A 3.75	11は、この地域の実情を把握した上で、地下工事の具体的な対策やアフターケア専門部署と連携したバックアップ体制等の細やかで具体的な提案が高く評価され、S評価となった。 13は、吊荷の越境防止策や災害発生時の対策等、独自の提案が評価されたが、標準的な内容の提案が多かったため、相対的にみて、A評価となった。 12は、車椅子利用者への配慮や税務署利用者への配慮等、利便性向上の提案が一定の評価をされたが、工事進捗を踏まえた仮設の工夫に関する提案が他の2者と比べて少なく、相対的にみて、B評価となった。
	①-(1)-【2】	A 3.75	A 3.75	A 3.75	11は、北側道路にゲートを設けない配慮や粉じん・臭気の拡散防止対策等が評価されたが、騒音対策の事前検証がなかった点が他者と比較してマイナス点となり、A評価となった。 12は、騒音の事前シミュレーションや車両台数削減対策等が評価されたが、山留工法の変更提案については現状の調査不足が指摘されたことから、A評価となった。 13は、独自の騒音予測・監視システムや車両台数削減対策等が評価されたが、工事車両運行システムの導入について、この地域での必要性和効果に疑問があり、A評価となった。
	①-(2)	S 4	A 3	A 3	11は、豊富な実績に基づく組織的な品質管理体制やスケジュール、維持管理・運用体制の具体的な提案、市民・職員向けの勉強会や大学との連携による運用面での継続的なサポートについて高く評価され、S評価となった。 12は、自然換気シミュレーションの提案や利用者向け省エネ運用マニュアルの整備自体は評価されたが、コミショニングプロセスやマニュアル整備手順の具体的な方策が不明瞭であったことから、A評価となった。 13は、断熱性能の確保策や停電時の対応について配慮された取扱説明動画の提案は評価されたが、ZEB全体に対する貢献度の大きさに疑問が残った。またBESTシミュレーションやロードマップ等に関する提案がなかったことやBIMの活用とZEB実現との関連が不明瞭であったことから、A評価となった。
	②-(1)-【1】	6	6	6	3者ともJV構成員(市内業者)の合計出資比率が40%以上、請負代金相当額に占める市内業者活用額の割合14%以上であり、6点(満点)の評価となった。
	②-(1)-【2】	S 2	A 1.5	S 2	3者とも、具体的な金額を示し、数多くの提案があったことが評価されたが、11及び13については、現場運営に関する物品購入・委託に関する提案に止まらず、全社的な宇部市産品の拡販等についても提案されたことが高く評価されS評価となり、12は相対的にみて、A評価となった。
	②-(2)	A 1.5	A 1.5	S 2	3者とも、ICTを活用した効果的な情報発信や現庁舎を活用したPR、体験型の見学会など数多くの提案があり、評価されたが、中でも13については、若い世代が「建築」に興味を持つきっかけとなるような見学会の提案や工事記録DVDの提案が高く評価され、S評価となった。その他の2者は相対的にみて、A評価となった。
基礎項目	①	3	3	3	免震構造の施工実績について、3者とも述べ面積15,000㎡以上の庁舎新築工事の実績があり、3点(満点)の評価となった。
	②-(1)	1	0	1	監理(主任)技術者の保有資格について、免震部建築施工管理技術者資格の有無により1点(満点)又は0点となった。
	②-(2)	2	2	1	監理技術者の実績について、3者とも、延べ面積15,000㎡以上の新築工事の施工経験があったが、用途(庁舎又は事務所等)の違いにより、2点(満点=庁舎の実績)又は1点となった。
合計(加算点)	28.25	23.25	25.50	3者とも、設計図や施工条件をよく確認、理解した上で、意気込みが感じられる数多くの優れた技術提案がなされており、全て標準以上の評価となった。 11は、地域の実情を把握した上での細やかな安全対策・周辺環境配慮の提案、ZEBに関する豊富な実績に基づいた具体的な組織体制・スケジュール・運用サポート等の提案、市内業者(建設関係以外)の活用に関する全社的な取組みの提案が高く評価されたことから1位の評価となった。 13は、「建築」に興味を持つきっかけとなるような見学会や工事記録DVD等の情報発信に係る提案、市内業者(建設関係以外)の活用に関する全社的な取組みの提案が高く評価されたが、工事車両運行システムの実効性やZEB Ready庁舎実現のための提案で貢献度や関連が不明瞭な内容があり、2位の評価となった。 12は、来庁者の利便性向上に資する提案や、騒音の事前シミュレーション等の周辺環境配慮に関する提案、ICTを活用した効果的な情報発信等、独自の提案が評価されたが、標準的なレベルに留まった提案が多かったことや具体性の面で評価に差が付き、3位の評価となった。	